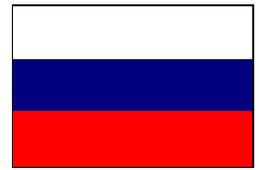


ウラン・ウデ市



ロシア連邦 Ulan-Ude, Russia

山形とウラン・ウデ交流の歩み

山形ウラン・ウデ友好協会

山形市は、ロシア連邦(旧ソ連)フリヤート自治共和国ウラン・ウデ市と姉妹都市の縁組をすることになり、平成2年12月21日の山形市議会で議決、締結式典は平成3年2月16日、山形市で行われました。

ウラン・ウデ市は、バイカル湖の東約75kmに位置し、針葉樹林に覆われた山々に囲まれ、市内にはセレンガ川とウデ川が流れる美しい街です。ウラン・ウデ市との交流は昭和45年に発足した日ソ沿岸市長会(現日ロ沿岸市長会)を通じて始まりました。ソ連でのベレストロイカが進行するなか、昭和62年8月、イルクーツク市での第11回日ソ沿岸市長会の席で、ウラン・ウデ市長から山形市との姉妹都市締結が提案されました。さらに、平成元年、山形市で開催された第12回日ソ沿岸市長会議等を通じて両市の友好は更に深まり、平成2年には山形市議会議長を団長とする山形市の友好親善訪問団がウラン・ウデ市を訪問し、友好関係の構築を目指していくことで合意、平成3年2月、姉妹都市が実現しました。

平成3年	2月16日	山形市、ウラン・ウデ市姉妹都市盟約締結式典を行うため、ウラン・ウデ市より5人が2月15日に来形。ソ連公使夫妻、市内関係者約150人の立ち合いのもと、 姉妹都市の盟約を締結 した。その後、市内観光、企業視察、経済観光、企業視察、経済懇談会、小学校訪問などを通じ、友好と理解を深めた。
	8月22日	旧ソ連で開催された「第13回日ソ沿岸市長会議」の席上、山形市長とウラン・ウデ市幹部との間で、今後の両市間の交流について話し合った。
平成4年	4月22日	「 山形市民友好訪問団先遣協議団 」2人が、28日までウラン・ウデ市を訪問、8月に予定されている「山形市民友好訪問団」の件について協議した。
	7月29日	山形市国際交流課職員が交換語学留学生として3ヵ月間ウラン・ウデ市に滞在し、ロシア語研修等を通じ市民と交流した。
	8月 5日	「地球の緑と水を考える会」のメンバーである尾形源二氏と岩村秀也氏が、自家用車でシベリアを横断しウラン・ウデ市に滞在、自然と文化の調査をしたほか、ウラン・ウデ市長を表敬訪問した。

平成4年	8月19日	山形市長を団長とする35人が、「第1回山形市民ウラン・ウデ市友好訪問団」としてウラン・ウデ市を訪問。一行は4日間のウラン・ウデ市滞在中に心のこもった歓迎を受け友好親善を深めた。
平成5年	2月24日	ウラン・ウデ市副市長を団長とするウラン・ウデ市代表団一行6人が、5日間にわたり山形市に滞在し、市内視察や今後の交流について協議した。
	12月21日	ウラン・ウデ市国際関係部職員のヴェロニカ・ロバリョーヴァさんが交換語学研修生として3ヵ月間山形に滞在し、日本語研修等を通じ市民と交流した。
平成7年	8月13日	ユジノ・サハリンスクで行われた日ロ沿岸市長会議の席上、山形市とウラン・ウデ市の両市長が今後の交流について懇談した。
平成8年 5周年！	7月 3日	山形市長を団長とした「山形市友好代表団・市民訪問団」一行28人がウラン・ウデ市を訪問。「世界平和都市会議 in 山形」に招致するとともに、市民との交流・視察を通して友好を深めた。
平成9年	7月 4日	山形市助役を団長とした「ウラン・ウデ市訪問経済視察団」12人は、経済交流のためウラン・ウデ市を訪問。お互いの情報交換や研修を行い、国際理解と本市経済の発展のため友好を深めた。
	10月 1日	「世界平和都市会議 in 山形」にディンブラーロブ・ピーンバ・ツインデーノヴィチ ウラン・ウデ市議長を団長に8人が来形。円卓会議におけるパネリスト、パフォーマンスの披露など、様々な友好姉妹都市イベントへの参加を通じ交流を深めた。
平成11年	11月14日	アイダエフ・ジェナディ・アークヒポヴィッチ ウラン・ウデ市長を団長とするウラン・ウデ市代表団5人が来形し、交流事業を通じて友好を深めた。また、ウラン・ウデ市長に対し、特別名誉市民章が贈られた。
平成13年 10周年！	6月28日	ウラン・ウデ市の「市の日記念イベント」への参加について、招待を受けたことに伴い、水道事業管理者を団長とする「ウラン・ウデ市友好代表団」一行5人が、ウラン・ウデ市を訪問。経済交流をはじめ今後の交流について協議するとともに、記念式典等の参加を通じ友好親善を深めた。
	9月11日	ウラン・ウデ市との姉妹都市締結10周年を記念し、山形市において記念式典を開催。ミハイル・マツヴィーヴィッチ副市長を団長とする代表団5人が来形し、5日間の滞在中、式典の参加や学校訪問等を通じ友好親善を深めた。
平成17年	7月19日	アイダエフ・ジェナディ・アークヒポヴィッチ ウラン・ウデ市長と東シベリア国立文化芸術アカデミー総長2名が、(財)環日本海経済研究所主催の「新しい北東アジア」セミナー講師として招聘され、その足で山形市を訪問。市長を表敬訪問するとともに、企業視察等を行った。
平成23年 20周年！	3月14日	東日大震災に際し、ゲンナディ・アイダエフ ウラン・ウデ市長より、お見舞いとお悔やみのメッセージをいただいた。

平成24年	2月22日	ウラン・ウデ市で開催の「太陰暦の新年祝賀イベント」「白い月のフェスティバル」に、日本で唯一のグリーンランド国際サンタクロース協会公認サンタクロース、パラダイス山元氏が当市の仲介で参加した。
	3月16日	3月にウラン・ウデ市で開催の「白い月のフェスティバル」に参加したパラダイス山元氏が来形。訪問についての話をされるとともに、ウラン・ウデ市の子ども達から託された絵などを当市に伝達。山形ウラン・ウデ友好協会の会員とも交流を深めた。
	7月 1日	市議会議長を団長とし、ウラン・ウデ市代表団が来形。4日間にわたり山形市に滞在し、市内視察のほか、7月3日にはウラン・ウデ市紹介フォーラムを開催し、ゴルコフ・アレクサンドル市議会議長が講演を行なった。
平成28年 25周年！	9月 2日	山形市長を団長とした山形市民訪問団35人がウラン・ウデ市を訪問。姉妹都市締結25周年を祝うとともに、ウラン・ウデ市制350周年を祝った。東北芸術工科大学の和太鼓研究会「太恵」も訪問団に参加し、記念式典にて和太鼓を披露した。また、岩田守弘氏が芸術監督を務めるブリヤート国立歌劇場バレエ団とも共演を行った。
平成29年	2月17日 ～20日	姉妹都市締結25周年を記念し、ウラン・ウデ市から市長を代表とする市関係者及び民間の観光関係者からなる訪問団7名が来形した。

[↑このページ\(交流のあゆみ\)のTOPへ](#)

山形ウラン・ウデ友好協会

山形ウラン・ウデ友好協会とは？

山形ウラン・ウデ友好協会

市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、山形市の友好姉妹都市であるウラン・ウデ市との相互理解の増進と、国際親善に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、2001年7月23日に創立されました。

- ◇現在の会員数 37名
- ◇年会費 1,000円
- ◇入会の条件 友好協会の目的に賛同する方

活動内容

- ◇ ウラン・ウデ市との交流及び情報の交換・連絡・調整
- ◇ 国際交流ボランティア活動への参加・協力
- ◇ その他友好協会の目的達成のための必要とみとめられる事業

[↑このページのTOPへ](#)

120331YCIRC